

# 木の教会コンサート

辻中徹也

このネーミングは評判がいい。きっとそのまんまの建築がいいからだろう。再生を手がけて下さった建築家・畠中秀幸氏は音楽家でもある。北海道吹奏楽プロジエクト(EBP)の仕掛け人であり代表者だ。「EBP」の中にある「札幌管楽ソリステン」はプロ演奏家による管楽合奏団、「アカデミーバンド」はアマチュア演奏家による。小・中学校・高校の吹奏楽部を支援する「サポートシステム」があり活動の三本柱だ。

明子牧師が聖書科の非常勤講

師を務める北星学園附属高等学校に三浦望教諭が顧問を務める吹奏楽部がある。EBP、附属高校吹奏楽部の選抜チーム、そして教会員でバスバリトンの大西真言氏のコラボによる木の教会コンサートvol.15が2月24日実現した。「札幌管楽ソリステン」とゆかいな仲間たちである。プロもうなるチューバくん、クラリネット八重奏、3名による渾身のパーカッション・アンサンブル、最大のマリリンバによるダイナミック&スリリングな三浦先生のパフォーマンス。2月の定番になりそう。

木の教会コンサートvol.16はゴスペルクワイア Voice of Praiseのクリスマス・ライブ！



## ある日の「うどん食堂」から

伊藤周子



礼拝後に一緒に食事をする「うどん食堂」。今日は、ゴスペルや島音楽の関係で教会には何度も足を運んでいるけれど、礼拝には初めて出席されたという3名を含めて13名で食卓を囲みました。いつもはうどんですが、今日は「ビーフストロノガフ」！そして手作りのスイーツや、手土産のケーキもあつて、みんなニコニコ顔です。コーヒーを入れて、食べながら、家族の就職、仕事、新しい出会いや学びの話など、それぞれの近況に耳を傾けました。あ、る方は大事な方を亡くされ、信ずるよりどころがあつたなら……とお話しされました。ま

た、依存症で苦しんでいる方は、偶然道を間違えて島松伝道所を見つけてから、信仰の立て直しを決意し、今は人に喜ばれることを支えとして話していると話してくださいました。持っていたキリスト教というイメージと島松伝道所の雰囲気の違いについて島松伝道所に魅せられた、と話された方もいました。いろんな神様に毎朝祈ります、と話す方もいました。

皆さんのお話を聞きながら、この「うどん食堂」にも神様は働いておられると実感します。それぞれが心に弱さを抱えながらも、ともに食べ、語り、聞きあうこの時は、島松伝道所が大切にしている豊かな時間です。

